



がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標

わたし
私たちは
しょうがいまな つづ
生涯学び続けることができる人を育てます (知)
みづか かんが ただ はんだん どりよくじつこう
自ら考え正しく判断し、努力実行できる人を育てます (徳)
じたのせいめい たいせつ しんしん けんこう ひと そだて
自他の生命を大切にし、心身の健康な人を育てます (体)
「まち」から学び、社会に貢献できる人を育てます (公)
じたをみと あ きょうせい ひと そだ
自他を認め合い共生できる人を育てます (関)

秘訣
努力 自律 敬愛

「心の伝承」

ふくこうちよう ふじの かずなり
副校長 藤野 一成

5月、6月と、各学年が大きな行事に立て続けに取り組みました。5月16日から18日に実施した3年生の広島・大阪方面への修学旅行、5月19日に実施した2年生の横浜校外学習、1年生のソレイユの丘校外学習、そして6月5日に実施した体育祭です。普段の学校生活とは異なる場所や環境の中で、生徒たちは多くの学びや発見を得たことと思います。その経験を、今後の学校生活や学習に生かして行ってほしいと考えています。

さて、今回の行事を通して、私が強く感じたことがあります。それは、生徒たちの「心の伝承」です。

3年生の修学旅行では、1日目に広島平和記念公園にて平和集会を行いました。事前の探究学習で学んできた戦争の悲惨さや平和の尊さへの思いを、折り鶴の奉納や「HEIWAの鐘」の合唱という形で表現しました。そして、その思いを1・2年生にも伝えようと、6月19日に体育館で全校生徒に向けた平和集会を実施しました。厳かな雰囲気の中で行われ、1・2年生にとって平和について一人ひとりが考える貴重な機会となるとともに、3年生の学びを知るよい機会にもなったことと思います。

体育祭では、全学年で学級対抗の大縄跳びに取り組みました。どの学級も仲間と励まし合いながら全力で挑む姿が見られました。中でも、3年生の結果発表の際には大きな歓声が上がりました。すべての学級が100回を超える記録を達成したことに対する称賛の声でした。

このように、上級生の姿に触れることで、下級生が「こんな先輩になりたい」「自分たちも挑戦したい」と感じることは、学校にとってとても大切です。言葉で伝えなくても、姿から感じ取り、自然と受け継がれていくものがあります。こうした「心の伝承」こそが、生徒の心に深く残り、学校の伝統を形づくっていくのだと感じています。

10月には文化祭が予定されています。私自身、小学校から赴任して3年目になりますが、合唱コンクールをととても楽しみにしています。どの学級も全身全霊で取り組む行事です。ここでも「心の伝承」が育まれ、上の宮中学校のよき伝統がさらに受け継がれていくことを願っています。

「体育祭を終えて」

(体育祭実行委員 1年学年代表)

体育祭が始まる前は実感もなく不安でしたが、クラスみんなで円陣とかをしていい雰囲気をつくることができました。みんなで困っていた大縄も、順位としては最下位でしたが練習の時の記録を超えることができ、嬉しかったです。そして、クラスのみんなとの仲の良さも深まってすごくいい初めての体育祭になりました。先輩達も言っていました、次の体育祭もいい思い出を作れるように頑張りたいです。今、学年代表を終えて、大変でしたが良い経験になったと思います。2年生でも学年代表になってみんなをまとめたいです。

(体育祭実行委員 2年学年代表)

今回の体育祭はすごく不安でした。クラスは他のクラスに比べてあまり団結していないかもしれないという不安がありました。ですがスクラムリレーや大縄の練習をしていくうちに、声かけが増えていき、クラスの雰囲気は明るくなっていきました。団結力がすごく高まっていくのを感じ、嬉しかったです。

(体育祭実行委員長 3年学年代表)

僕はこの体育祭が始まる前は良い体育祭にできるのかという不安がありました。けれど、大縄跳びや学年種目では生徒1人1人が全力で取り組んでいて、体育祭最後のアンケートでは多くの人が「楽しかった」「嬉しかった」と回答していて良い体育祭になって良かったです。僕はこの素晴らしい体育祭の委員長になれたことが黄金の体験です。